

スクリプト名

光熱費支給額計算ロボ

出力日：2021/05/24

【詳細版】

- 目次 -

main … 2

コマンド	ターゲット	入力内容	リトライ
1 Excel ファイルを開く		ファイルパス(空白時は新規ブックを起動): サンプル.xlsx シートの指定(新規ブックオープン時は無効): なし 起動時に自動計算を行う: true 起動時に外部参照へのリンクを有効にする: true 最大化して開く: true	
2 変数の設定		変数名: @行数 入力する値: 2	
3 Excel 値をコピー		ファイルパス(空白時は最前面のExcelを操作): null 列: B 行: @行数 変数名: @金額 最前面に表示して処理: false	
4 繰り返し開始 WhileEval >>		スクリプト: vars['@金額'] != " 繰り返しタイムアウト(秒) ※制限達成時エラー: 0 繰り返し回数制限 ※制限達成時エラー: 0 繰り返し回数(固定): 0 コメント: @金額の値がなくなるまで (表の最後まで)	
5 分岐開始 IfEval >>		スクリプト: vars['@金額'] > 5000	
6 Excel 値を入力		ファイルパス(空白時は最前面のExcelを操作): null 列: C 行: @行数 入力値: 5000 最前面に表示して処理: false	
7 分岐それ以外 << Else >>			
8 Excel 値を入力		ファイルパス(空白時は最前面のExcelを操作): null 列: C 行: @行数 入力値: @金額 最前面に表示して処理: false	
9 分岐終了 << End-If			
10 数値の計算		変数名: @行数 文字列A: @行数 比較方法: 足す 文字列B: 1 小数点以下の計算: 少数点何位より下を計算するか: 0	
11 Excel 値をコピー		ファイルパス(空白時は最前面のExcelを操作): null 列: B 行: @行数 変数名: @金額 最前面に表示して処理: false	
12 繰り返し終了 << End-While			